



道の駅「妹子の郷」を拠点とした自動運転サービス 第一回地域実験協議会を開催しました。

滋賀国レポートNo6
管理第二課

○高齢化が進行する中山間地域における人流・物流の確保のため、道の駅など地域の拠点を核とする自動運転サービスの導入を目指し、滋賀県大津市の道の駅「妹子の郷」を拠点とした主にビジネスモデル検証のための実証実験の実施に向けた検討を行う「地域実験協議会」を開催しました。

日時：平成30年12月 4日 10：00～11：30

場所：大津市役所（本館4階 第二委員会室）

議題

- 1) 地域実験協議会の設置について
- 2) ビジネスモデルの内容について
- 3) 実証実験の概要及び実証実験車両について
- 4) 今後の実証実験の進め方

協議会メンバー

会長：京都大学大学院工学研究科 宇野伸宏 教授
 副会長：京都大学大学院工学研究科 松島格也 准教授
 委員：滋賀県土木交通部・滋賀県大津土木事務所・大津市・滋賀県警察本部・大津北警察署・道の駅「妹子の郷」・和邇学区自治連合会・葛川学区自治連合会・滋賀県バス協会・滋賀県タクシー協会・滋賀県トラック協会・アイサンテクノロジー(株)・江若交通(株)・近畿運輸局・国土技術政策総合研究所・近畿地方整備局・滋賀国道事務所

【協議会の様子】



ルート(案)

